

平成 28 年度 ふるさとものづくり支援事業

市町村名	宮城県美里町	
事業名	雄勝石の高精細加工技術による高品位酒器の開発事業	
企業等概要	企業等の名称	キョーユ株式会社
	代表者氏名	代表取締役社長 畑中 得實
	所在地	宮城県遠田郡美里町関根字新苗代江 1 4 9 番地 1
	連絡先	0229-34-2329
	URL	<a href="http://www.kyoyu.jp/">http://www.kyoyu.jp/</a>

平成 29 年 12 月現在

**【事業者概要】**

大手電子部品製造会社向けの金型や部品加工等の製造販売など手掛ける精密部品加工企業。部品加工技術の高精度化や高精細化に努め、積極的に設備投資を進めている。電子デバイスを中核に、自動車関連、航空宇宙関連、医療機器関連、半導体製造装置関連、インフラ関連の事業分野で販路を拡大し、地域の雇用創出や産業発展に貢献している。



**【雄勝石】**

雄勝石は堆積した微粒子が圧密された、硬質粘板岩であり、層状に劈開性を持つのが特徴である。

その独特の積層模様や、水に濡らした際の漆黒の美しい風合いから、最上級の硯の原料として利用され、雄勝硯として伝統工芸品に指定されるとともに、国内天然石硯の7割以上のシェアを誇っている。

**【事業概要】**

◇背景・経緯

東日本大震災の津波で壊滅的損害を被った、宮城県石巻市の雄勝石産業復興発展への寄与を目的として、関係機関が共同して取組んだ。



盃加工用（縦型マシニング）



ぐい飲み加工用（複合旋盤）

◇開発概要

硯用原石として著名な天然玄昌石雄勝石を高精細加工技術で確立し、その応用製品として高品位酒器の開発を行った。

材料である雄勝石の特性により微妙な積層

模様が味わいとなる反面、層状に劈開性を持つ特性から積層面に対しどの方向を利用するかによって加工特性が大きく異なり、加工が難しい。

金属は延性材料であるため切り屑は糸状になるが、脆性材料である石の切粉は微粉となって舞い上がり、摺動部や回転部に入り込み機械故障の原因や人体への健康被害につながることから、速やかな吸引排除等の対策が必要であった。

## 【成果】

### ◇地域性・特徴

本製品の原料である雄勝石は、「水に濡らした際の漆黒の美しい風合い」から、伝統工芸品に指定される最上級の硯「雄勝硯」として利用されてきた。本製品には、酒に濡らした際の雄勝石の風合いや美しさが活かされている。

国内天然石硯の7割以上のシェアを誇る雄勝硯であるが、安価な輸入硯の普及に加え、硯自体の消費減少が進んでいる状況から、食器への応用をはじめとする新商品開発も試みられてきたが、加工技術のハードルが高く、これまで加工が比較的容易なプレート等の製作に留まっていた。当社の固有技術である先端機械加工技術を駆使し、薄い仕上げの盃や、深掘りのぐい呑みなど難度の高い加工を実用レベルの速度で加工できる条件を確立した。



左「ぐい呑み」 / 右「盃」

### ◇商品化・販売先

「雄勝の濡れ盃」という名称で商標登録し、美術工芸品や伝統工芸品の販売を手掛ける(株)こけしのしまぬきにて販売を行っている。

現時点では、「盃」と「ぐい呑み」の2種類が完成しており、仙台市内の百貨店でも外販専用及び店頭にて販売されている。河北新報社の推薦による日本ギフト大賞の受賞などもあり、市場での認知も進み始めた。



「地域が誇る すごいもの展」  
での展示の様子



(株)こけしのしまぬきでの販売

## 【今後の展望】

「盃」は高級志向者層をターゲットとし、更なる認知度を高めるとともに、高級贈答品としての海外販路の拡大も計画している。また、より購入しやすい価格設定を可能とする「角盃」も試作中である。

今後は、“復興”から“成熟”のステージを目指し、宮城の名品としての確立を目指している。